



## 取組の背景

### ▶ 生命科学研究の基盤を支える技術者へ

医科学・生命科学領域の研究や実験動物関連の職種域では、実験の再現性を担保する優れた技術者が求められています。

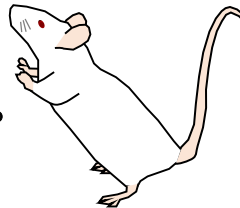
### ▶ 動物実験の技術を学ぶ

大学では教職員・学生が様々な目的をもって動物実験に取り組んでいます。誰もがはじめは初心者とはいえ、実験動物には関係ありません。無用な苦痛を与えないよう適切な取り扱いと手技の洗練に努める必要があります。

また、正しい動物の取り扱いや手技を学ぶことで、「上手くできるか不安」「ケガをしたらどうしよう」など、実験者が抱える不安の解消にも繋がります。

## 期待できる成果

宮崎大学で動物実験に携わる教職員や学生の基礎技術の習得を支援することで、動物実験技術に関する基礎教育の充実を図り、ひいては医科学・生命科学研究の基盤強化に繋げることができます。動物実験における国際原則である「3Rs」のうち、Refinement(苦痛の軽減)を推進し、動物実験の適正化を促進しています。



## 参考URLなど

フロンティア生物資源分野HP: <http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/AnimalCenter/>

農学部畜産草地科学科HP: <https://www.miyazaki-u.ac.jp/ags/>

## 特色ある取組

### ▶ 実験動物一級技術者の育成

農学部畜産草地科学科は日本実験動物協会が認定する「実験動物一級技術者」の在学受験資格を取得できる特別認定校に指定されています。

専門のカリキュラムで次世代を担う学生を教育し、合格者を輩出しています。その多くは実験動物関連の職種に就職し、我が国の生命科学研究の基盤を支える人材となっています。

### ▶ 実技講習会の開催

フロンティア科学総合研究センターでは、動物実験に携わる教職員や学生を対象にした実技講習会を開催するとともに、「もっともっと上手になりたい」とスキルアップを目指す実験者を対象にした実技講習をおこなっています。



実技講習会の様子